

～折半屋根施工～

段取りから実際の施工の注意点

～折半屋根施工 全体の流れ～

- ①現場調査
- ②事前準備・手配
- ③搬入
- ④墨だし
- ⑤金具取付・架台設置
- ⑥配線
- ⑦パネル設置



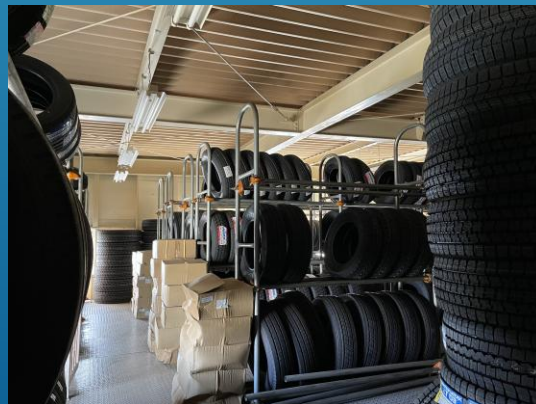
①現場調査

- まずは強度確認 → ・構造計算（要費用） ・ 建築会社に確認を依頼 ・ 経験則？
そもそも設置可能か？
- 「重ね式」か「はぜ式」か？ 屋根材によって金具も取付手順も違う
メーカー・型式、山高、山ピッチを確認
- 実際に設置可能な寸法を確認 「重ね式」の場合はルーフボルトのピッチを確認
- 搬入経路、機器・機材の置場、荷上げ場所、作業員の昇降経路、配線経路など確認
- その他の確認 サビ アンテナ 天窓 室外機 補強アングル メッ線
 ケーブル 配管 鳥糞 落ち葉 などなど

👉 施工前に必ず一度は、屋根上に上がって確認！

②事前準備・手配

- 近隣状況の確認 大型車両を使用する場合など、曜日や時間の配慮が必要
- 道路使用許可 クレーンや作業車を公道に駐車する場合、管轄の警察署へ申請
(申請から許可が出るまで5日前後かかる)
- 養生 「重ね式」折半の場合屋根材に穴をあけるので、切り粉が下に落ちる
- 安全対策 ○足場敷設 ○サビとり ○塗装 ○TVアンテナ ○電柱・電線



③ 搬入

○ 事前保管か当日入荷か？ フォークリフトの有無 ユニック車の有無

○ (例) パネル21.3kg × 30枚 + パレット ≒ 670kg が置けるかどうか？

○ 重機の駐車スペース、機器運搬車両の経路の確保

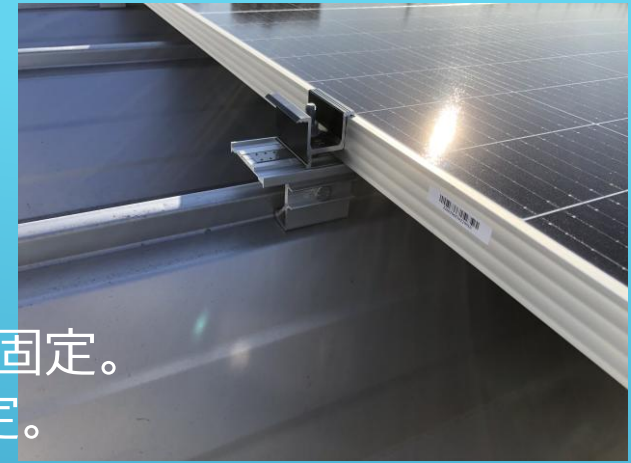
○ (参考) クレーン ¥ 60,000/日 スーパーデッキ ¥ 35,000/日 パネルボーイ ¥ 50万～



20260312重機商工株式会社



④墨だし～⑤金具取付・架台設置



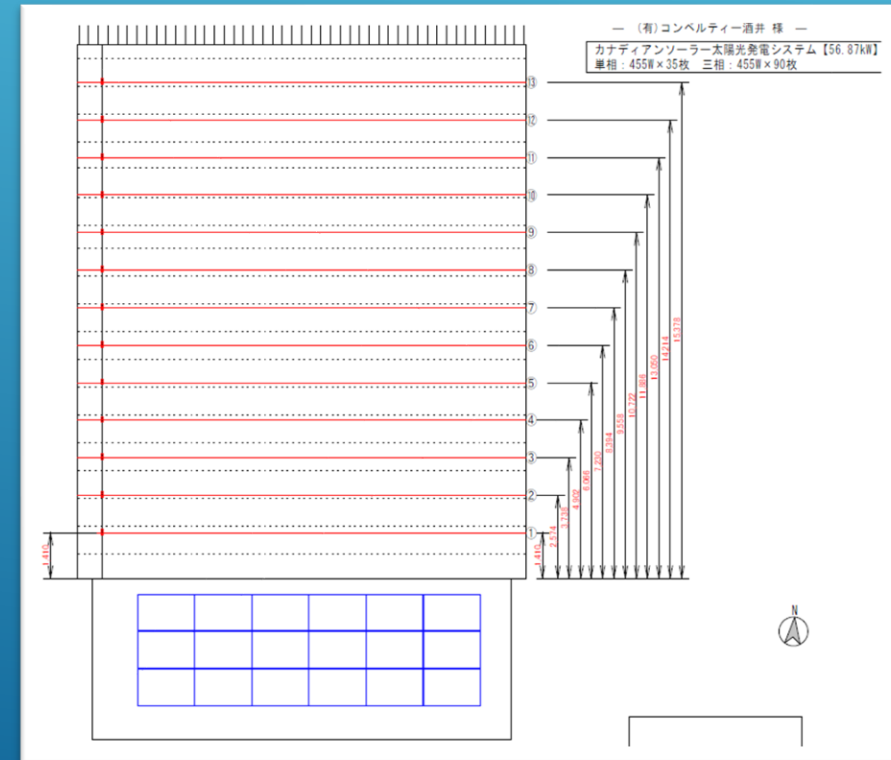
○「はぜ式」

- ・全体の配置寸法を確認。
- ・軒先側の一列目の金具を水糸などを使って真っすぐ固定。
- ・2列目以降は金具を仮置き→パネルを納めながら固定。

○「重ね式」

- ・全体の配置寸法を確認。
- ・既設のルーフボルト位置を避けた設計。
- ・チョークラインで墨だし。
- ・専用ドリルで穴あけ。
- ・金具をすべて取付け、シーリング

(注) 金具のあそびが少ないので、墨だし、穴あけは慎重に 



⑥配線～⑦パネル設置

- パネルの設置前にケーブル配線。シーリングが乾いてからが望ましい。（重ね式）
- 結線しながらパネル設置。できるだけケーブル、コネクタが谷に落ちないように。
- 配線立下りは、足場、高所作業車など使って外壁にサドル固定。
- 外部はPFD管、VE管の他、化粧ダクトやケーブルラックを使用。



